

# 11月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 梨栽培 石原 恭

## 行った主な活動

### ■ 棚上げ、施肥

網棚が低くなっていたため、竹や専用のポールを使って棚を持ち上げた。位置や高さを工夫して設置することで、棚の下での作業も格段にやりやすくなり、作業効率の向上につながった。

棚上げの後に鶏糞（肥料）を撒いた。鶏糞は固まりやすく、肥料散布機が使えないため、20kgの袋を両手で持ち、左右に振りながら撒いた。これまでの作業の中でも特に体力を消耗し、腰に大きな負担がかかり、大変な作業だった。



### ■ 剪定

不要な枝や伸びすぎた枝を切り落とす剪定を行った。最初はどの枝を切るべきか分からなかったが、師匠の作業を見ながら要点をおさえ、少しずつ自分で判断して切れるようになった。



## 活動を行った感想など

棚上げは年間を通して行う作業の効率化に大きく関わるため、とても重要な作業であると作業後に実感した。鶏糞を撒く作業では、腰への負担の大きさを痛感した。自身が腰を痛めやすいこともあり、より体に負担のかからない方法を模索し、今後の作業改善を目指したい。

剪定については、まだまだ知識や経験が不足しており、自分の判断だけでは対応しきれない場面も多くあった。分からないことはその都度師匠に質問し、休みの日には関連書籍を読んで学び、少しでも早く技術を身につけられるよう努力する。

## 今後の目標など

剪定作業は今後も長期間にわたって続くため、1日1日を無駄にすることなく取り組んでいく。ただ作業をこなすのではなく、常に目的意識を持ち、頭を使いながら、効率的かつ効果的に作業を進めることを心がける。